

ふくしま オーガニック通信

～オーガニック・ランドふくしまをつくろう～



R3-2

令和3年12月16日

福島県農業総合センター

有機農業推進室

福島県郡山市日和田町字高倉

字下中道 116 番地

TEL 024(958)1711 FAX 024(958)1730

Email : yuuki_otasuke_soudan@pref.fukushima.lg.jp

「令和3年度福島県有機栽培米生産者訪問見学会を開催しました」

農業総合センター 有機農業推進室

有機栽培米の販売促進を図るため、首都圏の米穀小売店を対象にした福島県有機栽培米生産者訪問見学会を開催しました。

見学会は11月7日（日）と11月14日（日）の2日間、中通り（Aコース）、会津（B・Cコース）、浜通り（Dコース）の4コースにて開催し、首都圏の米穀小売店関係者計22名（米穀小売店15社）の参加がありました。

今年は11月の開催ということで、水田に稲がない時期に開催することから、収穫前の水田風景を撮影した生産者のPR動画を作成し、参加する米穀小売店にYouTubeで視聴していただきました。また、収穫後ということで、新米の試食等が行われました。試食した米穀小売店の方からは、甘くて美味しいとの声が聞こえました。

<参加者の声>

[Aコース]

・有機栽培における除草の大変さがわかった。試食のお米が甘くて美味しかった。

[Bコース]

- ・若い人たちにもっと有機米の安全性や美味しさを知ってもらえたらよいなと思った。
- ・有機栽培の育て方や生産方法を実際の目で見たり、自然に適応した形で、トンボやメダカがよみがえるなど豊かに感じた。
- ・有機米を作る大変さを伝えたい。

[Cコース]

- ・強い信念で有機栽培に取り組んでいることに感動した。
- ・アイガモが実際に除草している動画が見たい。
- ・ほ場の位置が環境の素晴らしいところにあり、環境保全に対する強い思いや取り組みなど良く理解できた。
- ・美味しいお米を作るための生産者の頑張りをお客様に伝えたい。

[Dコース]

- ・先代の有機米への思いを引き継ぎ生産しているという点に興味を持った。
- ・稲作への熱心な研究姿勢に興味を持った。
- ・味が良いので販売するにあたって自信を持って勧められます。

Aコース 11/7 福島市
やまろく米出荷協議会



Aコース 11/7 白河市
遠藤有機農園



Bコース 11/7 会津若松市
あいづ有機農法生産組合



Bコース 11/7 喜多方市
スガイエコファーム



Cコース 11/14 会津若松市
すとう農産



Cコース 11/14 磐梯町
磐梯町環境保全農業の会



Dコース 11/7 南相馬市
渡部有機農園



Dコース 11/14 相馬市
わたなべ有機農園



「有機農業に関する理解促進講座を開催しました」

農業総合センター 有機農業推進室

福島県では、環境と共生する農業推進の一環として有機農業の理解促進に取り組んでおり、桜の聖母短期大学の学生を対象とした「有機農業に関する理解促進講座」を実施しています。本講座では、二本松市東和地域に所在する有機農産物生産団体「オーガニックふくしま安達」の代表幹事である関元弘氏に講師を務めていただき、有機農業推進室とともに大学内で講義を行いました。

講義内容としては、前段に有機農業推進室から有機農業や有機JAS認証制度、福島県の取組や現状等について紹介し、後段では有機農業を実践している関元弘氏より「オーガニックふくしま安達の取組」と題して、地域資源を活かした環境保全型農業や6次産業化等の取組内容を紹介していただきました。

講義の前と後に実施したアンケート結果から、講義前は有機農業に関して理解を示す学生はほとんどいませんでしたが、講義後は有機 J A S 認証制度への理解を示し、有機農産物を購入したいと回答する学生が多く見られました。

これからもこのような講座をとおして、県民の皆様の有機農業に関する理解の促進に努めてまいります。



桜の聖母短期大学での講義風景

有機農業推進室の講義

講師を務めていただいた関 元弘 氏

普及コラム①

「若い力で会津有機野菜の生産拡大を！」

会津農林事務所 農業振興普及部

会津若松市神指町の横山大地さんは今年度で就農5年目になります。父親であるあいづ有機農法生産組合長の幸喜さんの指導のもと、有機栽培技術を習得しながら年々栽培面積を増やし、現在は1ha規模のネギを有機栽培しています。ネギ栽培は定植機、収穫機、除草機等、機械化がある程度確立されているため、省力的な栽培が可能であり、基本的な栽培管理は大地さん一人で行っています。また、12月以降の気温の低下により、彫り上げたネギの保管が可能のため、一定の収入が得られることも大きな利点となっています。

あいづ有機農法生産組合は有機野菜の大ロット出荷を理念に掲げ、現在は組合員10名となりました。組合員の得意品目を優先しながら、生産調整を行い、実需者のニーズに的確に対応しています。就農10年目以内の組合員が6名を占め、若い力が確実に育っており、さらなる有機野菜の生産拡大が期待されます。



夏季のネギ生育
(県普及員技術研修、7月21日)



ネギの収穫作業 (11月19日)

普及コラム②

「いわき市のこだわりの農産物直売所そのふあを紹介します」

相双農林事務所 双葉農業普及所

いわき市で有機農業を行っている園部勝さんが代表を務める「農産物直売所そのふあ」を紹介します。

自ら栽培する有機野菜をはじめ、地元いわき市産の化学農薬を使わないで栽培したこだわり野菜を販売しています。加工品にもこだわっており、有機農産物の加工品が並びます。

新型コロナウイルスの影響で飲食コーナーは休止中ですが、現在は心を込めて作った手作り弁当を販売しています。

園部さんは前号で紹介した有機農業組織「環境保全型農業研究会 農Limit」にも所属しており、有機栽培技術の研鑽にも努めています。

常磐自動車道いわき勿来 IC を降りて車で数分のところに直売所はありますので、是非お立ち寄りください。



令和3年6月15日撮影



令和3年10月8日撮影

お店にならぶ有機野菜

【店舗情報】

住所：いわき市勿来町窪田片岸8-1

電話：0246-88-7077



普及コラム③

「今年も福島県環境保全稲作研究会渡辺会長の水田で有機米が収穫されました」

相双農林事務所 双葉農業普及所

福島県環境保全稲作研究会は相馬市と南相馬市で有機栽培、特別栽培のお米を作っており、相馬市の渡辺正行さんが会長を務めています。

渡辺さんは、初めて見た有機栽培米に感銘を受けて以来、自身も有機栽培に取り組み、今年で21年目の有機米稲刈りになります。

安全・安心はもちろんのこと、米の食味を重視した栽培にも心がけています。

「今年も収穫の秋を迎えた。」と笑顔でコンバインに乗り込んでいました。



コンバインで有機米の稲刈りをする渡辺会長（令和3年10月4日撮影）

《お知らせ》

「令和3年度環境にやさしい農業拡大推進事業」及び「令和3年度ふくしま有機農業ひとつくり強化支援事業（新規事業）」について

環境保全農業課

1 令和3年度環境にやさしい農業拡大推進事業

有機JAS認証の取得や生産安定・生産拡大に必要な施設・機械の導入を支援します。

（申請受付：令和4年1月14日（金）まで）

(1) 有機JAS認証拡大推進事業

有機JAS認証の新規認証又は継続認証に要する費用を支援します。

【補助率】①新規認証は3/4以内 ②認証継続は1/2以内

③小分の新規認証は定額、施設整備1/2以内

(2) 環境にやさしい農産物供給体制の整備

農業者2戸以上で構成する組織等が有機農産物等の生産拡大や出荷安定化に向けて、共同で利用する施設・機械を導入する経費を支援します。

【補助率】1/2以内（上限額 1,000万円）

【補助対象例】色彩選別機、園芸用パイプハウス等

2 令和3年度ふくしま有機農業ひとつくり強化支援事業（新規事業）

（令和3年度～令和5年度）

有機農業による就農者の確保及び就農支援活動、有機農業の実践的な研修体制の整備等を支援します。（申請受付：令和4年1月14日（金）まで）

(1) チャレンジふくしま有機農業推進事業

有機農業の組織等が実施する有機農業の新たな担い手の確保及び就農支援活動等に要する費用を支援します。

【事業主体】有機農業者が構成する組織、市町村、団体等

【補助率】2/3以内（上限額 70万円）

【補助対象例】組織の活動をPRするホームページの作成・組織のPRパンフレット作成等

(2) チャレンジふくしま有機農業就農研修支援事業

就農研修者を受入れる農家が、有機農業の実践的な研修を実施するために必要な整備及び運営経費を支援します。

【事業主体】有機農業者が構成する組織及びこれに属する農業者、市町村、団体等

【補助率】2/3以内（上限額 100万円）

【補助対象例】施設、農器具等の借上げ及び修繕費・農地の借上げ及び維持管理費・資材等の購入等

詳細については、下記の農林事務所等へお問い合わせください。

【問い合わせ先】

県北農林事務所 : 024 - 521 - 2604 県中農林事務所 : 024 - 935 - 1307

県南農林事務所 : 0248 - 23 - 1555 会津農林事務所 : 0242 - 29 - 5302

南会津農林事務所 : 0241 - 62 - 5253 相双農林事務所 : 0244 - 26 - 1147

いわき農林事務所 : 0246 - 24 - 6160

農業総合センター有機農業推進室 : 024 - 958 - 1711

農林水産部環境保全農業課 : 024 - 521 - 7453

※以下のURLは、上記でお知らせした事業に関するホームページアドレスとなります。

(HP) <https://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/36021d/youki-keikaku-04.html>

(HP) <https://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/36021d/youki-hitodukuri-01.html>



上記↑QRコードからも、「令和3年度 環境にやさしい農業拡大推進事業」に関するホームページにアクセスできます。